

①

休 学 願

(表面)

西暦 年 月 日

東京外国語大学長 殿

所 属	言語文化学部 ・ 国際社会学部 ・ 国際日本学部		
学 科	言語文化学科 ・ 国際社会学科 ・ 国際日本学科		
専攻(地域)言語 ／所属地域	言語文化学部 ()語・()地域		
	国際社会学部 ()地域・()語		
学 籍 番 号			
学 年			
氏 名	印		
現 住 所	〒		
	TEL: E-mail:		
休学中の連絡先	〒		
	TEL: E-mail:		
保証人 (自署)	氏 名	印	
	住 所	〒	
		TEL: E-mail:	
※承 認 教 員	印		

同一印でなすこと

※承認教員…言語文化学部の1・2年生は「専攻言語代表教員」、国際社会学部の1・2年生は「地域代表教員」、
国際日本学部の1・2・3年生は「教務担当学部長補佐」、3・4年生(国際日本学部は4年生のみ)
は所属学部に関係なく「指導教員」

私はこのたび、下記の期間を休学したいので許可くださるよう別紙添付書類を添えてお願いいたします。

記

休 学 期 間	該当する□にチェックを入れて、年度等をご記入ください。		
	☐ 20 年度 春・夏学期(6か月)		
	☐ 20 年度 秋・冬学期(6か月)		
	☐ 20 年度 春・夏学期および秋・冬学期(1年間)		
	☐ 20 年度 秋・冬学期および20 年度春・夏学期(1年間)		
	☐ 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日(年 か月) ※上記以外の場合		
休 学 新 規 休 学 延 長 (どちらかに○をつけてください)			
延長の場合は 休学していた期間	西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日		

在 留 資 格	☐ 留学 ⇒ 留学生課窓口にお越しください	留 学 生 課 確 認 欄	印
	☐ 留学以外		

※在留カードをお持ちの方で在留資格が「留学」の場合は、まず留学生課窓口の本用紙を提出してください。

大学記入欄

授業料
納入確認

②

休 学 理 由

・国内

- ☐ 一身上の都合による※5 ☐ 家庭の事情による ☐ 経済的理由による ☐ 病気のため※1
☐ 進路の再考のため ☐ 国内インターンシップのため※4 ☐ その他※5

・海外

- ☐ 留学のため(単位認定を希望する 休学留学)※2 ☐ 留学のため(単位認定を希望しない 自由留学)※2
☐ 在外公館勤務のため※3 ☐ 海外インターンシップのため※4 ☐ 留学以外の理由による海外滞在※5
 ◎休学理由が「・海外」の箇所にチェックした場合は別添の「休学を伴う海外渡航に関する届出情報」にも記入し教務課へ提出してください。

(理由の詳細)

必要添付書類

- ※1 医師の診断書
 ※2 入学(受入)許可書(英語以外の言語で記載されている場合は和訳を添付)
 ※3 受入許可書または契約書等(英語以外の言語で記載されている場合は和訳を添付)
 ※4 契約書等(英語以外の言語で記載されている場合は和訳を添付)
 ※5 理由の詳細を記載してください。

海外渡航する場合は、以下に記入し、「休学を伴う海外渡航に関する届出情報」を切り離さずに教務課へ提出してください。

国名: _____ 都市名: _____

大学/所属機関等の名称: _____

単位認定の希望 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 協定校 ☐ 協定校以外



□有にチェックした者は、「休学留学申請書」と「入学(受入)許可証等」の添付書類を併せて、休学開始日の1ヶ月前まで(厳守)に提出してください。

休学願提出時に単位認定希望を「無」にチェックした場合(単位認定希望の有無にチェックしなかった場合も希望は無しとみなします)、その後の変更は一切できません。

＜＜休学願の提出に際しては、以下の項目を必ず確認のうえ、□に✓を入れてください。＞＞

- ☐ 休学願は、休学開始日の1ヶ月前までに提出してください。
☐ 休学願提出時に未払いの授業料がある場合は、休学が許可されません。
☐ 本人印と保証人印は必ず異なる印鑑を使用してください。また、記入した内容を訂正する場合は必ず訂正印を押してください。
☐ 日本学生支援機構の第一種・第二種奨学金の貸与を受けている場合、休止の手続きが必要です(他の貸与奨学金も同様です)。休止の手続きについては、学生課へ申し出てください。
☐ 休学期間が満了した場合は、休学期間最終日の翌日から自動的に復学となります(復学の手続きは不要です)。ただし、病気を理由にした休学の場合には、回復を示す医師の診断書を復学時に提出してください。
☐ 休学期間の延長を希望する場合は、当初の休学期間が満了する1ヶ月前までに休学願を再度提出(延長申請)してください。
☐ 休学期間の途中で復学を希望する場合は、復学を希望する日の1ヶ月前までに復学願を提出してください。
☐ 授業料は復学した月から発生します。
☐ 進級するためには、各学年で春・夏・秋・冬の各学期を全て在学していることが必要で、進級時期は4月(10月入学者は10月)のみです。休学により進級が遅れる場合があることを理解しました。
☐ 卒業するためには、卒業所要単位を充足するほかに、4年次に1年以上在学することが必要です。休学による卒業可能時期の延期について理解しました。
☐ 履修案内に記載されている進級・卒業に関する説明について確認し、理解しました。

③休学を伴う海外渡航に関する届出情報

学年 _____ 年 学部(○を付ける) 言語文化学部 国際社会学部 国際日本学部
 学籍番号 _____ 博士前期課程・後期課程 _____ 専攻 _____

氏名 _____ 印 保証人氏名 _____ 印
 氏名(ローマ字) _____

※パスポート表記の通りに記入してください

電話番号 _____ 電話番号 _____
 E-mail _____ E-mail _____

私は、次の通り海外渡航をしたいので届出ます。なお、海外渡航中事故その他が生じた場合には、保証人において責任をもって処理します。

渡航目的 (○をつける)	1. 留学(単位認定申請あり) 2. 留学(単位認定申請なし) 3・インターンシップ 4. ワーキングホリデー 5. 旅行 6. その他()		
留学先教育 機関名、イン ターン先等、 受入機関名			
単位認定の 有無	有 無 →有の場合は、教務課で手続きのこと		
奨学金の有無、 奨学金の名称	有 () 無		
渡航先国、州 ／県、都市名			
渡航先国・地 域の危険情報 *	危険レベル	なし レベル () ← 2以上の場合は渡航不可	たびレジ・在留届提出**
	感染症危険レベル	なし レベル ()	済 未済
渡航期間	年 月 日 ～ 年 月 日		
留学・イン ターン等期間	年 月 日 ～ 年 月 日		
同行者人数	人(同行者がいない場合は0と記入。同行者がいる場合は名簿(様式自由)を添付すること。)		
渡航中の 連絡場所 (安否確認等 で使いま す)	国内	氏名	続柄
		住所	
		電話	
		E-mail	
	国外	連絡先	
		住所	
		電話	
		E-mail(本人)	e-mail(滞在先)
加入保険	会社名: _____ 証券番号: _____ ☐ 未加入だが、渡航までに加入*** ※保険に加入の場合、保険証書のコピーを提出すること		

* 外務省が出す渡航先の危険情報(危険レベル)が「レベル2」以上の場合は渡航が許可されません。

裏面に続く

渡航先国・地域の危険情報 <http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html> で確認し、レベルを記入すること。

** たびレジまたは在留届の提出が未済の学生は、情報がわかり次第登録を行い、登録した旨を「ただいま留学中」サイトに入力すること。

***届提出時に未加入の場合は、加入後留学支援共同利用センターにメールで知らせるか、「ただいま留学中」サイトに入力すること。

④日 程 表

学籍番号: _____

日付 年 月 日	発着地名(国名) 日本発 ()空港	留学・渡航先	滞在日数 日	備考
年 月 日	日本着			

※帰国後、「ただいま留学中」サイトで、ステータスを変更のこと。

この届で知り得た個人情報は、学生の動向把握、保険関係業務、奨学金関係業務、本学教職員からの学生への連絡に使用します。